

工事名：新名神高速道路 高槻高架橋東（鋼上部工）工事



計画担当：坂本祐子

2025年10月に開始した鋼桁架設は間もなくP1橋脚に到達します。P6上空の高圧線（50万ボルト）およびP3上空の高圧線（27万5千ボルト）を無事に施工することができました。

引き続き、P7に戻り下り線の鋼桁架設を実施します。

まだまだ道のりは長いけど、安全対策を万全に工事を進めていきます。



### ○1月15日鏡開き

当現場事務所においても鏡開きを行いました。一般的には1月11日だそうです。鏡開きは単なる餅を食べる行事ではなく、神仏への感謝、家族の健康、繁栄を祈る日本独自の文化行事です。歴史的には武家社会の風習に由来しています。

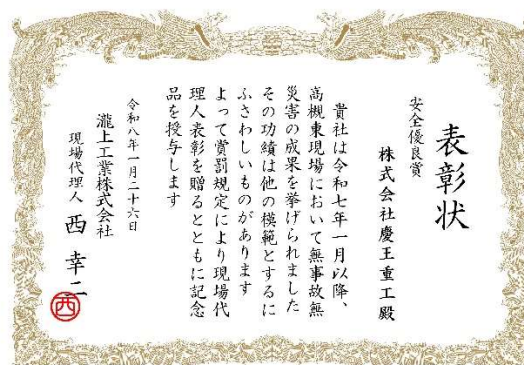
当現場にもミャンマー、フィリピン、ベトナムの方が6名います。鏡開きを通じ、さらに、仲良しになりました。



### ○1月26日安全優良表彰

1年間無事故無災害で作業を終えました。各協力会社に対して、現場代理人表彰を行いました。そして、慰労会と称して仕事終わりに高槻市駅付近で飲み会を開催しました。

やはり、コミュニケーションの基本は酒を酌み交わし、美味しいものをいっしょに食べる。そして、楽しく会話する。さらに、現場が一体になりました。また、来年も表彰ができるように安全作業を祈願するところです。



### ○占いをする大人たち

デジタルサイネージはいろんな機能をもつ掲示板です。

お知らせ・現場工程の最新情報・事故事例の見える化・熱中症指数の標示・天気予報など色々な機能があります。朝礼後に占いをしてあーでもない、こーでもないで騒ぐ大人たち。時々その中に入ってしまう。



○架設計画（クレーン位置確認）（架設制限確認）

架設計画中、現場に赴き監理技術者・安全巡視員他らと計画と現場を確認する。  
 平面的な図面との違いを想像し現場で議論する。  
 安全作業のため、正確な計画が要求される。頑張ってください。



○計画担当に聞いてみた。

Q 1. 現場に赴任し計画業務を実施されていますが、一番苦労した事を教えてください。

A 1. クレーン設置位置の地盤高、架設する箇所の高圧線高を使用し、618部材すべての架設検討図を作成することが苦労しました。想像以上にクレーンブームがたわむため、想定でのたわみ量を考慮して検討していくのが難しかったです。  
 また、クレーンで吊るだけではなく、搬入位置と荷取り位置がとても重要ということも判りました。

Q 2. 本社に戻った時、計画チーム内に展開したい事があれば教えてください。

A 2. 今まででは本社の机の上での工事計画しかしていなかったため、施工計画書を書いていても意味をしっかりと理解していない部分がありました。今回実際の施工を見て、全てではないですが、少しは理解したと思います。それでもまだまだですが。

Q 3. 高槻高架橋東の現場環境は如何でしょうか？満足でしたか？

A 3. ヤードの狭さと、高圧線には悩まされますが、下請けさんを含めた周りの環境は非常によく、女性の私でものびのびと仕事をすることができました。

質問に答えて頂いてありがとうございます。まもなく本社に戻ります。

高槻高架橋東の経験を活かして、安全第一の架設計画立案をお願いします。

当現場においても何かあったら「止める・呼ぶ・待つ」を徹底し、受発注者一体の安全管理体制で施工を進めてまいります。

次回、高槻東通信 vol.3 は7月上旬の掲載予定です。